



# 会報

## 東京都中学校長会

平成 31年3月12日

第 400 号

発行 東京都中学校長会  
会長 小澤 雅人  
〒105 港区西新橋 1-22-13  
-0003 全日本中学校長会館202号  
電話 03 (3504) 8705  
FAX 03 (3504) 8706

〈巻頭言〉

## 「新たな時代の始まりに」

会長 小澤 雅人  
(杉並区立阿佐ヶ谷中学校長)

“光陰矢の如し”と云われるように、時間の流れは速く、平成30年度も終わりを迎える頃になりました。また、時は早く行き過ぎるものであるから、その時々を大切にせよとの教えもありますが、振り返ってみると、そこには只荒野が残っている感を覚えてしまいます。

平成の時も残すところ一か月余り。時代の大きな転換の時期を迎えました。30年前に、昭和から平成の代に替わることを経験はしていても、これからの時代が「予測不能な社会」と称される様に、先の見えぬ不安感に駆られる思いもあると云えます。そして、今まで脈々と繋がってきたモノの見方や価値観、政治や産業構造、人々の関わり合いにも大きな変容が想像されています。

中学校では、2021年度から始まる新学習指導要領による教育活動への準備を進めています。また、働き方改革、今後の部活動のあり方、チーム学校体制のマネジメント、AI社会への対応等、様々な経営課題が山積しています。特に、AI社会の振興により、データ処理や分析は格段にAIで行うことができていきます。そこから出る回答や結果をそのまま受け入れていくことが、人々が行う方向性ではないと考えます。その結果や回答を基に、どの様に人々が創造していくかが、これからの人々の役割だと考えます。

だからこそ、考え抜けていけるだけの知恵や知識、そして関わり合いが今まで以上に重要となっていきます。その根底となる哲学であり、文学を基として考えていく力を教職員自らが高めていくことが何よりも云えます。そして、教職員集団のコミュニケーションや関わり合いの力を培っていくことが、これからの学校運営の急務です。働き方改革で生み出していく時間を活用し、教職員の資質を高めていくことが、生徒の未来を切り拓く最重要課題だと考えます。

“一寸の光陰軽んずべからず”という諺もあります。時の移ろいは早いものであるからこそ、わずかな時間も大切に学校経営にあたっていくこと

が、校長のリーダーシップの根底にあります。新たな年の、時代の始まりをきっかけとして、学校経営の充実は今後も邁進していきましょう。

さて、3月を迎えました。今年度をもってご勇退される、97名の校長先生方、長年におわたり、東京都の中学校教育の発展、充実にご尽力くださり、誠にありがとうございました。

多くの方々は、昭和50年代後半に東京都に奉職され、当時の中学校は生活指導困難のピークを迎えて、日々暴力行為や器物破損の対応に追われていました。そのような中、体を張り生徒たちと向き合い、対応されていた先輩の先生方から、学習指導や生活指導、部活指導はじめとした教師としての基礎・基本について多くを学ばせていただきました。そこで身に付けることのできた多くが、今の私の教員生活及び学校経営のベースになっています。

そして、校長会の役員・理事をはじめ、613名の東京都中学校長会の全ての校長先生方、事務局の皆様方、一年間本当にありがとうございました。また、この会報を発行するに際し、原稿をお寄せいただいた校長先生方、大変お忙しい中、ご執筆くださりありがとうございました。

着任の挨拶で「切磋琢磨するとともに、相互に支え合える中学校長会を目指す」との方針を示しました。どこまで実現に近づけることができたかわかりませんが、皆様に支えられ、ここまでたどり着くことができました。

最後に、東京都中学校長会のために、ご支援、ご協力くださった全ての皆様方に心から敬意と感謝を申し上げます。



# 1 月 地区代表者連絡会報告

## 2 月 区市等校長会長連絡会報告

### ■ 1 月 地区代表者連絡会

日時 平成31年1月21日(月) 15時～17時

場所 日本赤十字社東京都支部

#### 1 行政説明

- 都立工業高校のご紹介(PR)について  
東京都教育庁都立学校教育部  
都立高校改革推進担当課長 奥富 洋一 様  
東京都立蔵前工業高等学校長 渡邊 隆 様

#### 2 会長挨拶

- 都立高等学校入学者選抜における各種の改善並びに入試への対応について
- 平成31年度の東京都中学校長会活動方針の策定について
- 都教育庁人事部との情報交換会及び都教育庁指導部との教育連絡会について

#### 3 連絡・報告事項

##### (1) 役員会より

- ・委員会等参加報告書の内容について

##### (2) 各部・各委員会より

###### 【総務部】

- ・平成31年度活動方針(案)について

###### 【会計部】

- ・平成30年度の会費納入等について

###### 【教育対策部】

- ・WEBでの調査について

###### 【研究部】

- ・研究大会について

###### 【生徒指導部】

- ・第4回研修会及び協議会について

###### 【人権教育推進委員会】

- ・地域視察Ⅱ・管外研修について

###### 【進路対策委員会】

- ・都立高等学校願書提出時の書類不備をなくすことについて
- ・2月 中学校進路対策委員会資料について

###### 【修学旅行対策委員会】

- ・保険の見直しについて

###### 【選挙管理委員会】

- ・平成31年度の会長等選挙について

###### 【全日本中学校長会】

- ・理事会報告

#### 4 事務局より

- ・次年度都校長会年間予定表(第4案)等について
- ・古岡奨学会の選考結果通知について
- ・平成30年度退職者の情報提供について
- ・平成31年度本会会費に関してのお願い

### ■ 2 月 区市等校長会長連絡会

日時 平成31年2月14日(木) 15時～17時

場所 新宿コズミックセンター

#### 1 行政説明

- 人事行政上の課題について  
東京都教育庁人事部 主任管理主事 泉澤 太 様

#### 2 会長挨拶

- 2月3日「東京都中学校駅伝大会」参加御礼
- 都立高等学校入学者選抜にかかわる内容について
- 平成31年度の東京都中学校長会組織編成に向けて
- 平成31年度東京都教育庁の新規事業について

#### 3 連絡・報告事項

##### (1) 役員会より

- ・特別支援教室の開設に向けての人材確保について
- ・都立高等学校入学者選抜の英語スピーキングテストについて

##### (2) 各部・各委員会より

###### 【総務部】

- ・平成31年度活動方針(案)について

###### 【会計部】

- ・平成31年度都教育庁所管事業予算・職員定数等について

###### 【生徒指導部】

- ・新宿中学校における研修会への参加要請

###### 【進路対策委員会】

- ・学力検査当日のトラブルの回避等について
- ・インフルエンザ等学校感染症罹患等に対する追検査における応募資格の補足について

###### 【修学旅行対策委員会】

- ・修学旅行におけるキャンセル料にかかる保険について
- ・東海道新幹線連合体輸送出発日別幹事校について

#### 4 事務局より

- ・年度末・年度当初の地区連絡担当者の報告のお願い
- ・平成30年度退職者・退会者の調査について
- ・次年度都校長会年間予定表(第5案)について
- ・叙位・叙勲に対する個々の対応について  
「高齢者叙勲」「特別叙勲・死亡叙位」

# 各部・委員会報告

平成 30 年度 人権教育推進委員会 活動概要  
人権教育推進委員会委員長 並木 浩子  
(昭島市立清泉中学校長)

## 1 活動方針

東京都教育委員会の基本方針の第 1 には【「人権尊重の精神」と「社会貢献の精神」の育成】が示されている。「多様な人々が共に暮らす東京にあって、すべての大人、子供たちが、人権尊重の理念を正しく理解するとともに、思いやりの心や社会生活の基本的ルールを身に付け、社会に貢献しようとする精神をはぐくむことが求められる。」また、人権教育の目標として「一人一人の幼児、児童、生徒がその発達段階に応じ、人権の意義・内容や重要性について理解し、自分の大切さとともに他の人の大切さを認めることができるようになり、それが様々な場面や状況下での具体的な態度や行動に表れるとともに、人権が尊重される社会づくりに向けた行動につながるようにすることである。」とある。この基本方針・人権教育の目標に基づき、東京都公立中学校長として、各学校・関係機関との連携を密にしつつ、研究活動を推進する。

さらに、東京は学術、文化、経済など様々な分野でグローバル化が進んでいる中、多様な文化を受け入れ、東京に暮らす全ての人々が分け隔てなく自己の能力を発揮できる社会を作り上げていく必要があるとの観点から、平成 27 年 8 月に改定された東京都人権施策推進指針を踏まえ、人権教育推進上の様々な課題解決に向けた研修に取り組む。特に、今年度は「いじめ問題及びその防止への対応」「児童虐待の早期発見と適切な対応」「体罰の根絶」等を中心に取り上げるとともに、オリンピック・パラリンピック教育における人権教育に取り組む。

## 2 活動の内容

### (1) 人権教育研修会の開催

東京都教育庁指導部指導企画課と連携を図って、東京都公立中学校長全員を対象とした研修会(講演会)を開催する。

日時 平成 30 年 11 月 26 日(月)

会場 東京都教職員研修センター

内容 ・東京都の人権教育  
・人権課題「性同一性障害者」「性的指向」の理解として、「性同一性障害を理解する」

講師 東京都教育庁指導部指導企画課

指導主事 辻 慎二 様

ちあきクリニック院長 松永 千秋 様

### (2) 地域視察(管外研修)

都内や他府県の人権教育推進校、人権施策推進地域や関連施設等を訪問・視察し、学校や地域の状況や実践について研修を深めるとともに、情報や資料を得て、東京都の中学校教育並びに自校の人権教育に役立てる。

#### ① 地域視察 I (半日研修)

日時 平成 30 年 7 月 25 日(水)

視察先 浅草方面フィールドワーク

#### ② 地域視察 II (管外研修)

日時 平成 31 年 2 月 12 日(火)

視察先 埼玉県立歴史と民俗の博物館

### (3) 定例会の開催(年 7 回開催)

### (4) 研究紀要の作成

1 年間の研究の成果を研究紀要(人権教育資料)としてまとめ、都内全公立中学校に配布する。

平成 30 年度 進路対策委員会 活動概要  
進路対策委員会委員長 茅原 直樹  
(江戸川区立二之江中学校長)

## 1 活動方針

### (1) 進学対策

昨年度に生じた高等学校等入学者選抜の制度上、実施上の諸問題について検討し、31 年度選抜の円滑化を図るため、関係諸機関と緊密な連携の下、対策を講じる。また、生徒の自己実現のため、確かな学力の定着を図り、勤労観・職業観を育成し、キャリア教育の視点に立った進路指導を推進する。

### (2) 就職対策

中学校の進路指導における就職指導の位置付けを踏まえ、生徒の自己実現に向けた就職と定着指導などのための対策を検討・協議する。

## 2 活動の重点

### (1) 進学・就職に関する諸問題の調査・検討及び対策の実施

### (2) 進路指導にかかわる諸調査及び諸事務

### (3) 高等学校等の入学者選抜に関する諸問題の調査・検討及び対策の実施

### (4) 関係諸機関・諸団体との連携・協力・連絡調整

### (5) 就職する生徒についての調査・指導

## 3 活動の内容

### (1) 進学対策

#### ① 入試日程への対応及びその期間の適正化に関すること

#### ② 推薦入試選抜制度及び一般入試選抜制度の改善と定着に関すること

#### ③ 隣接他県の入試制度の動向等の情報把握に関すること

#### ④ 「学校説明会」「入試相談」のあり方に関すること

#### ⑤ 成績一覧表、調査書等、諸書類の適正な作成に関すること

#### ⑥ 「高等学校等志望予定調査」の実施と進路指導の情報提供

#### ⑦ 「高等学校等入学者選抜に関する問題点調査」の実施と次年度の改善に向けた意見集約

#### ⑧ 関係諸機関との連絡調整・協議及び関係諸機関への要望の提出

#### ⑨ 関係各機関の主催する諸会議等に東京都中学校長会代表として出席すること

### (2) 就職対策

#### ① 職業安定所(ハローワーク)の就職業務への協力と連携

#### ② 関係諸機関・諸団体・諸学校に対する就職生徒への激励の要請とそれら諸機関等との定着指導のための連絡・協議

### (3) 定例会の開催(年 9 回開催)

ただし、第 4 回は悪天候のため中止。代替措置として後日臨時役員会を開催。

### (4) 施設見学

日時 平成 30 年 10 月 5 日(月)午後 3 時

場所 武蔵野東高等専修学校

# 退職校長一言集

## □新宿区立牛込第一中学校 小須田 秀実

町田市立南大谷中で教員生活をスタートし、新宿区立牛込第一中学校で退職するまでの37年間はあつという間の期間でした。その間、先生方・生徒・保護者・地域の方、多くの皆様に支えていただきました。皆さまには心より感謝申し上げます。

## □新宿区立新宿養護学校 寺島 京子

多くの方々のお力添えを頂きながら、無事に退職の日を迎え、感謝の気持ちで一杯です。小学校産代からスタートし、中学校、特別支援学校と様々な教育に関わることができ、今は宝となっています。大変な日々もありましたが、全てがよき思い出となっています。

## □文京区立第六中学校 不破 裕子

中学生の頃、母校に通うバスの窓から毎朝眺めていた学校で退職の日を迎えることになりました。深いご縁に感慨無量です。振り返れば出会いに恵まれ、多くの方々を支えていただいた38年間でした。お世話になった皆様に心より感謝申し上げます。ありがとうございます。

## □文京区立第十中学校 松本 心一

大変お世話になりました。「もう少しやってもいいかな…」といった気持ちを持ちながら定年退職の時期を迎えられますことに対し感謝申し上げます。ありがとうございます。

## □文京区立音羽中学校 愛川 睦

60歳という年齢と退職という現実がピンとこないというのが正直な感想です。教職生活38年、うち15年間は文京区でお世話になりました。そのうち8年間を校長として2校で勤務いたしました。これまでお世話になった皆様に感謝とお礼を申し上げます。有難うございました。

## □台東区立上野中学校 上原 一夫

教員生活を振り返り、うまくいった記憶はほとんど残らず苦勞した記憶やうまくいかなかった記憶の方が沢山残っています。しかし、退職まで職務を全うできたのは、先輩・同僚の先生方、生徒・保護者の皆さんの支えがあったおかげだと思っています。お世話になりました。

## □墨田区立竪川中学校 織部 明広

教員となり、37年間の時間を費やし、町田市、大田区、豊島区、墨田区と勤務してまいりました。この間に、出会った方々に支えられ校長として、退職を迎えることができました。これまでお世話になった皆様に、心より感謝申し上げます。ありがとうございます。

## □墨田区立吾嬭第二中学校 渋谷 俊昌

三鷹市での教員生活が始まりで、8地区8校で勤務しました。東京の西部、中央、東部そして島しょ部と、地区によって大きく違う環境で、先生方はもちろんのこと、学校を支援して下さる皆様方に支えられてなんとか職責を全うできました。感謝の思いでいっぱいです。

## □墨田区立寺島中学校 松井 隆

定年にあたり、「合理的な方法、内容、環境を揃えたら、後は、努力、根性、ど根性でいく」を身構え・心構えとして、突っ走ってきた37年間だったかと思ひ、全ての皆様方に、心から感謝をしています。どうぞ、お元気で。

## □江東区立深川第一中学校 春名 秀夫

定年を迎えるにあたり「感謝」の二字が頭に浮かびます。足立区を皮切りに葛飾区、板橋区、江東区での35年間の教員生活でした。何ができただのか心許ないところですが、関わってくださった皆様に支えていただき今を迎えることができました。ありがとうございます。

## □江東区立第二亀戸中学校 長南 良子

昨年度まで、この一言集でよく見る言葉に「あつという間」がありました。今自分も実感する言葉は、「あつという間」です。「光陰矢の如し」です。そして、この時を迎えられたのも、出会えた多くの皆様方のお陰です。本当に有り難うございました。

## □江東区立第三砂町中学校 森 富士生

教職37年、あつという間でしたが、思い起こせば山あり谷ありでした。しかしながら、今このように60歳を迎えられたということは、教師冥利に尽きます。これもたくさんの方に支えられたおかげと感謝いたします。ありがとうございます。

## □品川区立浜川中学校 米塚 裕貴

初めて教壇に立った昭和56年の4月以来、大田区、中央区、八丈島、品川区とお世話になり、多くの出会いが私の教員人生を豊かなものにしてくれました。様々な出会いに心より感謝し、これからの人生で少しずつでも世の中に恩返しができるかと考えています。

## □品川区立品川学園 荒川 右文

平成の元号とともに、教員生活を送らせていただきました。元年の頃は、まさか義務教育学校という校種で定年を迎えるとは想像もできませんでした。不器用な私がここまでやってこられたのは、諸先輩方、同僚の皆さまのおかげと感謝しております。ありがとうございます。

## □目黒区立第一中学校 小沢 進

あつという間の38年間でした。もう退職であるという実感が湧いてきません。今に至るまで、たくさんの諸先輩方のご支援とご指導によりここまでやってくることができました。感謝申し上げます。まだまだ元気です。これからも頑張ります。

## □目黒区立東山中学校 片柳 博文

過ぎてみれば「あつ」という間のことであった。笛吹き、旗振り、任せてくれた校長であったか疑問はある。だが、誠実には勤められたと思う。これも東京都中学校長会の取り持つ校長同士の「絆の賜」である。会のますますの隆盛を祈念している。

## □大田区立大森第一中学校 今井 兼一

校長会の先輩方の導きや24学校経営塾(同期会)の仲間の励まし等多くの校長先生方のお陰で管理職として勤めることができました。全日中並びに都校長会の校長先生方お世話になりました。少しはよい状態で後任の先生へ引き継げそうです。有難うございました。

## □大田区立大森第二中学校 菅原 淳一

昭和57年、東京都の教員として採用され今日まで早37年間。東京都中学校長会並びに、諸先生方には、大変お世話になりました。今教員生活を振り返りますと、あつという間でした。これからの、好きな運動部活動、スポーツの世界に携わっていきたくと思います。

□大田区立大森第四中学校 細越 政道

毎年感慨深く拝見しておりましたこのコーナー、ついに自分の番が来てしまいました。37年間の教師生活、特に校長としての11年間は多くの皆様方に本当にお世話になりました。子どもたちのために100の力を注ぐと、200になって返ってくるような幸せな教員人生でした。

□大田区立田園調布中学校 新宮領 毅

38年前、初任校が決まり校長面接へ行くと、こう質問された。「教師に必要なものは何か」すかさず「愛情と情熱」と答えた。校長は「もう一つ大事なものがある」として、「それは権威だ」と言われた。その真意を実感するまで10年を要したが、自身の教職の原点となった。

□大田区立蓮沼中学校 大原 章博

月日の流れは早かった。生徒理解に走り回る20代、教科指導に励む30代、学年経営・分掌経営に苦勞する40代、学校経営を楽しむ50代、「生徒のために」と、東京都の教育に関わった。忙しい毎日だったが、あっという間の37年間だった。

□世田谷区立八幡中学校 吉田 秀敏

足立、港、江東、大田と巡り、管理職になってからは世田谷区でお世話になりました。思い返せば激動の38年間の教員人生でした。苦勞も多かったですが、同時に多くの良き先輩、同僚そして生徒に恵まれた日々でもありました。これから何か恩返しをしていきたいです。

□世田谷区立深沢中学校 佐野 晴子

教員生活38年間の集大成に、校長として創立70周年行事に携わり無事に定年を迎えられますことは、出会った全ての方々の支えのお陰と深く感謝いたします。子育てや介護で不安な後進のためにも、やりがいと将来を展望できる職場づくりにむけ、尽力し続ける所存です。

□世田谷区立用賀中学校 中村 豊

37年間の教員生活が終わりを迎えました。長期社会体験生や全日中の仕事も経験できて、充実した日々を送ることができました。感謝で一杯です。ただこの20年間は、教育界にとっては大変な時期でした。今後も苦難が続くと思います。皆様のご健闘をお祈りいたします。

□世田谷区立芦花中学校 直田 益明

授業や部活動に明け暮れた墨田での初任校をスタートに、品川、世田谷でお世話になりました。この間に会った生徒たち、ご指導・ご支援をいただいた先輩や同僚、保護者や地域の皆様、そして何よりも東京都中学校長会の皆様方に心より感謝申し上げます。

□世田谷区立上祖師谷中学校 宇野 亮

新任時、今の自分は想像もしなかった。育てていただいた諸先輩方。苦樂を共にした仲間たち。共に成長してくれた子供たち。支えていただいた保護者地域の方々。すべての方々に感謝！

□世田谷区立世田谷中学校 阿部 陽一

夢叶い教師となり、今思えばあっという間の37年間で過ぎようとしています。たくさん思い出があります。多くの人に支えられました。この間に会った生徒、先輩、仲間…、そして、家族に感謝します。ありがとうございました。そして、これからもよろしくお祈りいたします。

□世田谷区立船橋希望中学校 菅野 茂男

「人生に悔いはなし」とは言い難いが、この職業に就いた時には想像すらできなかった校長で定年を迎え、改めて「立場が人をつくる」ことを心から感じている。今後どんな立場になるにせよ、教職に関わる人を援助することで教育界に貢献できればと考えている。

□渋谷区立渋谷本町学園中学校 橋爪 昭男

様々な課題にぶつかった時、あれやこれやと考えながら、校長室の中を何周回ったことだろう。しかし、都校長会や区校長会の皆様のご指導のおかげで、解決したことがたくさんありました。心から感謝申し上げます。また、心臓や胃腸を丈夫に産んでくれた両親にも感謝。

□中野区立第七中学校 池田 俊一

中野区にちょうど20年間お世話になりました。副校長として昇任した現在の学校に出戻り3年間。その2年目が開校70周年に当たり、生徒、地域、保護者、職員が力を合わせ「地域とともに育つ学校」を盛大に祝えたことが大きな喜びです。中野はよいところですよ。

□中野区立中野中学校 弓田 豊

寛くして畏れられ、厳しくして愛される指導者を理想に37年間の教職人生を送ってきました。理想には到底及ばない37年間でしたが、数多の感動をいただきました。もし、神様に人生のやり直しを命じられたなら、再び教職の道を歩み、今までの失敗や過ちを償う所存です。

□中野区立中野東中学校 齊藤 久

様々な経験をさせていただいた37年間は無我夢中で走り続けてきました。管理職になって体調を崩し健康維持のために始めたマラソン。退職の年に初めて東京マラソンの出場チャンスを得ました。お世話になった皆様に感謝しゴールを目指し完走をしたいと思っています。

□杉並区立阿佐ヶ谷中学校 小澤 雅人

思い返せば、あっという間の教職生活だったと思っています。日々、生活指導と部活動に明け暮れた時を、つい最近のように思い起こしています。本当に、様々な方々に支えられて過ごさせていただいた34年間でした。「ありがとうございました。」この一言に尽きます。

□杉並区立松溪中学校 赤荻 千恵子

教育課題の解決に向けて、先生方とアイディアを出し合い実現したこと、学校支援本部や地域運営学校が立ち上がり多様な方々の授業への参画を得て生徒の顔の輝きが増したこと等思い出されます。改めて多くの皆様の御指導・御支援に感謝の気持ちでいっぱいでございます。

□杉並区立天沼中学校 水野 英利

私が今ここにいるのは、諸先輩方の手厚いご指導と同僚だった皆さんの温かい励ましと後輩の方々の献身的なサポートがあつてのこと。なんと恵まれた環境だったことか。このご恩に報いるためにも、この道で培った誇りを胸に、これからも生きていこうと思います。

□杉並区立井草中学校 大野 正人

若い頃は、長く感じた時の流れも、今ではあっという間であつたと感じています。まだまだやり残していることは多々ありますが、定年退職をもって、まずは一区切りといったところでしょうか。これまで、ご指導ご支援くださいましたすべての皆様方に感謝申し上げます。

□杉並区立松ノ木中学校 渡邊 仙二

昭和56年4月に練馬区の中学校を皮切りに教員で3校。教頭・副校長で2校。校長で3校経験させていただきました。いろいろなことがありましたが、周りの先生方に助けられてここまでやってきました。38年間お世話になり、ありがとうございました。

□豊島区立千川中学校 紅床 直也

10地域11校の教職履歴のうち、校長職としては板橋区・渋谷区・豊島区等で9年間勤めさせて頂きました。総会や研究会等仲間と会って互いの活躍を確認すると、更なる力が湧いてきたものです。今後は、グローバル人材育成を自身のテーマとして、頑張っていきます。

□荒川区立第一中学校 佐藤 一男

今、教員人生区切りの年となり、多くの方々に支えられてここまでやれてこられたと思います。特に、校長初昇任が島しょの学校で、何かと大変な環境でしたが、同じ島しょ地区の校長先生方からの温かい励ましが心の支えでした。人の優しさに触れられた教員生活でした。

□荒川区立第九中学校 水井 雅史

東京都中学校長会の皆様には、たいへんお世話になりました。皆様とのネットワークが支えとなり、校長職を務めることができました。小学校の校長を3年間、通常学級・通級指導学級・夜間学級の兼任校長としての4年間は全て貴重な経験でした。心より感謝申し上げます。

□板橋区立志村第五中学校 関 一彦

東京都公立中学校教員として品川区、大田区、千代田区、板橋区にお世話になりました。その間、多くの先生方から御指導、御支援、励ましを賜りました。感謝の気持ちで一杯です。誠にありがとうございます。

□練馬区立旭丘中学校 南 俊彦

杉並区、狛江市、八丈島、練馬区での教員生活は子ども達や保護者の方、教職員の皆様に支えてもらいながらの35年間でした。どの地域、どの学校にも素敵な思い出があります。ありがとうございました。

□練馬区立練馬東中学校 山谷 安雄

私が子どもの時に職人である父親に何度も言われて、今でも自分に言い聞かせている言葉があります。「横着するな。」簡単な言葉でも、本質を捉えています。そして、もう一つ「嫌なことから始める。」後回しにしたいとき、いつも言い聞かせています。

□練馬区立田柄中学校 宮古 登

新島中学校から始まり38年間、6地区8校で多くの方々に支えられ充実した教員生活を送ることができました。地域や保護者、そして生徒との素晴らしい出会いで多くのことを学ばせていただきました。お世話になったすべての皆様に心より感謝申し上げます。

□練馬区立豊浜中学校 日下石 直美

世田谷区、大田区、品川区、そして練馬区で6年間校長として勤務させて頂きました。様々な出会いに感謝しています。健康で、心豊か、そしてよく学び、一隅を照らせる(山家学生式より)よう、これからも精進していきます。お世話になりました。ありがとうございます。

□練馬区立大泉北中学校 木川 卓也

気がつけば38年間、中学校教育に携わりこの年を迎えました。自分が校長になるとはとても思えなかった30代。無我夢中で生徒と関わった40代。副校長になり悩んだ時、周りの先輩方に支えられた事、今でも忘れません。ただ感謝あるのみです。ありがとうございます。

□足立区立第九中学校 長塚 琢磨

『私の朝は、先生の「おはよう」で始まる。』と言った生徒に応えるために寝ることすら忘れて取り組んだ若手教員時代が懐かしく思います。今では、私が『生徒や教職員そして地域との「笑顔とおはよう」の交換で朝が始まる』と感じています。学び多き職に感謝しています。

□足立区立東島根中学校 井原 武彦

教員・管理職として数多くの皆様に支えていただいたことに感謝申し上げます。また、皆様のお引き立てにより様々な経験をさせていただき、多くの方と出会えたことで世界が広がり、多少なりとも成長できたことをありがたく思っています。心機一転これからも頑張ります。

□足立区立東綾瀬中学校 山崎 要

38年間、3市(昭島・稲城・東村山)1区(足立区)で生徒との関わりを楽しんで教職生活を送ってきました。管理職として17年、夜間学級設置校・小中一貫教育校・コミュニティスクールなど様々な学校を経験させていただき、その時々のお会いに感謝しています。

□足立区立伊興中学校 加藤 明

この3月で教職生活から卒業する。今思うことは、「感謝」の気持ちでいっぱいである。30年以上の長きにわたり生徒や保護者、そして先輩の先生・同僚に支えられた毎日であった。周囲の方々から励ましの言葉や支援をいただき卒業できる。「本当にありがとう。」である。

□足立区立花保中学校 長谷川 安男

定年退職を迎えるにあたり、楽しく充実した教員生活を過ごさせていただいたこと改めて感謝いたします。特に若いころは、生徒たちから、そして保護者の方々から多くの糧を得た気がします。今後ともご指導、ご厚情賜りますようお願い申し上げます。

□葛飾区立上平井中学校 布施 実

38年間の教員生活を終えようとしている。本当にそんなにたつてしまったのか? 23歳、やる気満々であり、とにかく早く先輩方のように認められたかった自分を昨日のこのように覚えている。そして60歳、校長として終わる自分…。皆様、本当に有難うございました。

□葛飾区立中川中学校 目々澤 幸雄

昨年4月に校長に昇任して、アツという間の1年間でした。校長として、生徒の前に立ち、地域や保護者・教職員と出会い、できたこと、できないこともいろいろありますが、何となく「楽しい」ことばかりの毎日でした。この充実した1年間に、感謝しかありません。

□江戸川区立松江第四中学校 森 美智子

「誠実に生きる」を座右の銘として、5区9校での教員生活34年間を過ごしてまいりました。すべての出会いが私の人生の宝物となりました。生涯の支えとなります。支えてくださった皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。

□江戸川区立西葛西中学校 中村 清忠

自分なりにチャレンジした教師人生であった。校長になるなどこれっぽっちも思っていなかった私が、60歳という節目を校長として迎えられるのも、出会った皆様方のおかげである。感謝、感謝である。愛すべきは家族、生徒、そして、先生方である。月がきれいですね。

□江戸川区立瑞江第三中学校 武田 信樹

昭和の後半から平成の終わりまで、教職に携わることができました。「内平かに外成る」を目標に心穏やかにと毎朝念じてきましたが、実際は目の前の生徒や保護者の姿に一喜一憂する毎日反省の日々です。新しい時代にご活躍される皆様のご健勝を祈念いたします。

□八王子市立城山中学校 門馬 弘

今までご指導くださったたくさんの皆さまに、感謝申し上げます。数々の失礼の段、ご容赦ください。本当にありがとうございます。今後ますます厳しくなる教育現場、皆さまご自愛ください。最後に、心身共に頑強に産み育ててくれた両親にも、感謝。

□八王子市立恩方中学校 守屋 和広

埼玉県で5年間経験した後、東京の西部地域の中学校8校で33年間の教員生活を勤めさせていただきました。これまでに上司や先輩、同僚、保護者、地域の方に支えられ、そして多くの生徒と出会いさまざまな感動をもらったことは私の貴重な財産です。心から感謝いたします。

**□八王子市立加住小中学校 清水 和彦**  
37年間の教職生活も、今思うと月並みではありませんが、「あっ」という間でした。「教育界の未曾有の危機」と言われた時に教職に就き、未だ数多くの教育課題が山積している時に職を辞する。何とも心苦しい気がします。後を引き継ぐ皆さんの奮闘を期待します。

**□八王子市立七国中学校 堀内 雄士**  
憧れだった教職に就き36年間。多くの生徒との出会いの中で共に成長できたと思っています。そして校長として学校経営の厳しさとやりがいを感じる日々でした。東京の教育に貢献できたか自信はないのですが、多くの皆様の支えが拠り所でした。感謝申し上げます。

**□八王子市立陵南中学校 川口 浩**  
定年を迎え今思うことは、本当にあつという間の教員人生であったということです。それだけ充実した期間を過ごせたのだと思います。勿論、順調な時ばかりではありませんでしたが、教職人生を全うできたのは、多くの皆様や家族の支えがあったからです。有難うございました。

**□八王子市立鎌水中学校 枝村 晶子**  
大田、港、府中、多摩、日野、八王子の5地区8校で教員生活を送りました。一心不乱に駆け抜けた日々でしたが、それぞれのステージで自分を成長させてくれた人との出会いがありました。生徒、保護者、地域、先生達等、私が出会った全ての方に心より感謝申し上げます。

**□立川市立立川第八中学校 川崎 達也**  
退職を迎え、改めて「人との出会いと優しさに恵まれた」34年間だと実感しています。特に校長として11年間は山あり谷あり、なかなか上手く行かない時も都校長会の仲間が陰に日向に様々な形で手を差し伸べてくれました。高みを目指す元氣な組織を応援しています。

**□立川市立立川第九中学校 富永 立人**  
無我夢中に保健体育科の研究に取り組み、サッカー一部の指導に尽力した教員時代。管理職として教職員の育成に努めた最後の10年間。いつもたくさんの皆様に指導、ご支援をいただきましたことに感謝いたします。ありがとうございました。

**□武蔵野市立第六中学校 田極 政一郎**  
校長として10年2月、立派な学校経営はできませんでしたが、先生方には子ども達を「かわいがってくれ、叱ってくれ。」と言ってきました。37年間の教職生活でしたが、先生想いの子ども達、心の広い保護者、我が儘を許してくれた先生方に感謝です。

**□おおさわ学園三鷹市立第七中学校 勝野 能光**  
大学卒業後、職を得てはいましたが、父の背中を追い教員になりました。「生徒とともに」その時の決意は今も忘れてはいません。管理職17年間で三鷹市で務めることができ、感謝と誇らしい気持ちです。多く生徒・保護者・地域の方々との出会いも大切な宝物です。謝意。

**□青梅市立霞台中学校 青山 隆志**  
37年間を振り返ると、巣立って行った生徒たちとの様々な思い出がよみがえります。ここまでご指導くださった諸先輩をはじめ、切磋琢磨してきた仲間たち、ご協力くださった保護者や地域の皆様など多くの方々へ心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

**□青梅市立東中学校 吉田 稔**  
在職中は、大変お世話になりました。本日まで教育職としての職務を全うできたのも、皆様方のお陰です。東京都立大会には研究大会をはじめ、多方面でご支援をいただきました。貴校長会の益々のご発展を祈念するとともに、一層のご活躍をご期待申し上げます。

**□府中市立府中第一中学校 森岡 耕平**  
校長として干支を一巡りし、定年の春を迎えました。今あることに、ただただ感謝するばかりです。巡り合った人と与えられた仕事をとりあえずやってみて、その結果をありのままに受け止める。そんな日々でしたが、幸せだったとあらためて思います。

**□府中市立府中第八中学校 笹川 敏**  
今までご指導いただいた先輩の先生方。また、仕事でお世話になった先生方には改めて感謝申し上げます。定年は人生の区切りではありますが、今は働くことの多様化から新たなスキルを習得できるチャンスでもあります。学ぶことの大切さを大事にしたいと思います。

**□調布市立調布中学校 平岡 盛仁**  
教職に就いてから37年間が過ぎました。この間、苦しかったこと辛かったこと、楽しかったこと嬉しかったことなど、色々なことがありました。しかし、今となってはどれも良い思い出です。出会った全ての人（生徒も含めて）に育てられました。ありがとうございました。

**□調布市立神代中学校 高橋 剛三**  
還暦という節目の年を校長として迎えることができました。ここまで来られたと「ホッ」とした気持ちと、再任用として「まだ働かなければ」という気持ちが混在しています。気持ちも新たに、これからも挑戦する気持ちで、職務を遂行していきたいと思います。

**□調布市立第四中学校 菱沼 省二**  
管理職として教員生活を終わることになるとは予想していませんでした。若い頃の「部活動馬鹿」の私を知る同僚達は驚いていると思います。しかし、教員の要役になり、要役として教員生活を閉じることができることを、しみじみ幸せだと感じます。

**□調布市立第六中学校 田代 和正**  
34年間の教職生活を通して、多くの先輩方に御指導を賜り、無事に勤め上げることができました。本当に感謝しています。校長としての14年間は、都校長会の諸先輩方に、公私ともに大変お世話になりました。今後は、ライフシフトをキーワードに、第二の人生を謳歌したいと思います。

**□町田市立南大谷中学校 橋本 雅彦**  
「クラスで一番目立たない生徒の視点に立つことのできる教師になろう」これが新規採用時の私の目標である。クラスが学年、学校と変わってもその想いは変わらない。「温かい穏やかな雰囲気」の学校づくり」という経営ビジョンを掲げて学校経営を行えたことを幸せに思う。

**□町田市立金井中学校 仙北屋 正樹**  
私を応援していただいた皆さまのおかげで、校長職まで経験させていただき退職することができました。これからも独りよがりにならず、たくさんの方のご縁を大切に、社会に貢献できるように自分の人生を歩んでいきたいです。ありがとうございました。

**□町田市立小山中学校 井手 伊澄**  
管理職になって教頭・副校長を10年間、校長を8年間勤めさせて頂いた。回顧すればもう二度と戻りたくないと思う時期もあればあの頃に戻りたいと思う時期もある。さまざまな思いがめぐる中、今思うことは「ああ、あの子今頃どうしているのかな？」である。

**□小平市立小平第三中学校 峯岸 貴彦**  
八王子、世田谷、中野、小平の4地区で諸先輩や同僚、多くの生徒に恵まれ様々な経験を積むことができました。管理職になり厳しい場面もありましたが仲間を支えられ、何とかやってこられました。つくづく人に恵まれていたと思います。ありがとうございました。

**□日野市立日野第一中学校 高橋 清吾**  
清瀬中学校から教員人生が始まり33年間の教員生活を送ることが出来ました。最後は管理職として副校長と校長職を11年間も務めることが出来たのも諸先輩方のご指導と都中学校長会のご支援の賜物だと思います。本当にありがとうございました。お世話になりました。

**□東村山市立東村山第二中学校 渡邊 宏一**  
3年間の民間企業勤務を経て、渋谷区から社会科教員としてスタートしました。教育活動を通して「生徒・教職員の可能性を伸ばしたい」という信念で努めてきました。今振り返ると多くの同僚や諸先輩に支えていただいた35年間でした。本当にありがとうございました。

**□東村山市立東村山第四中学校 海老塚 俊一**  
先生方や地域、生徒のみなさんとの出会いで面白く充実した教員生活を過ごすことができました。お世話になった皆様に心より感謝申し上げます。

**□国分寺市立第三中学校 松本 信之**  
4地区7校での勤務を経た37年間の教員生活でした。時に学校には様々な逆風が吹きます。しかし、その逆風を真摯に受け止め、順風とすべく、多くの方々に支えていただきつつ全力で取り組んできました。お世話になった皆様に心より感謝申し上げます。

**□福生市立福生第二中学校 小出 宏**  
福生市にて、8年間校長職を務めさせていただきました。スローガン「すべてはふっさつ子の未来のために」のもと、どれほど役立つことができたのか疑問ではありますが、確かなことは、多くの方々に支えられここまで来ることができたということです。感謝しかありません。

**□福生市立福生第三中学校 尾暮 亮**  
千葉県の公立中学校で3年間正規教員し、その後東京を受け直しました。副校長で父島の小笠原中学校、校長で伊豆大島の大島三中を経験しました。いろいろな所でたくさんの方々のことを学びました。皆様のおかげで37年間の教員生活を終えることができました。

**□狛江市立狛江第一中学校 樋口 豊隆**  
本校の校訓である至誠楽園の精神「自己を偽らず、自己の最善を他人に尽くす」ことを座右の銘として、6年間の「楽園」創りに邁進できたことを誇りとし、また校長会の皆様の励ましやお支えを受け、定年退職できますことに厚く感謝申し上げます。ありがとうございました。

**□狛江市立狛江第二中学校 佐伯 英徳**  
教職37年目の節目を迎えました。一教員として20年、管理職として17年、一度も立ち止まることなく歩んできました。学校と行政を行き来する中で頂戴した多くの方々のご指導ご支援に対し心からのお礼を申し上げたいと存じます。本当にありがとうございました。

**□東大和市立第一中学校長 石井 和光**  
37年に及ぶ教員生活のスタートは問題行動を繰り返す3年生徒の対応に苦慮し授業初日から大混乱の事態を招き、10年たった頃は野球部の指導に没頭し、強く、かつ良いチーム作りを力に注ぎ、最後の3分の1は管理職として子供たちの育成に努め、我が人生に悔いなし。

**□東久留米市立大門中学校 杉本 真紀子**  
定年まで5年以上、年度途中、というイレギュラーではありましたが、自分自身が納得できる選択をいたしました。これまで常に希望と目標を持ち歩んでいくことができ、皆様に深く感謝申し上げます。今後も教育に携わってまいりますので、引き続きよろしくお願いいたします。

**□武蔵村山市立第四中学校 清水 実**  
憧れの中学校教員にやっとなれたのが20代後半。毎日が楽しくて、先のことなど何も考えなかった。その時その時、やりたいことをやりながら、大好きな学校で30年以上過ごすことができた。なんとわがままな半生だろうか。これからは、つけを払いながら、いざ後半戦へ。

**□多摩市立諏訪中学校 吉川 修央**  
38年間の東京都での教職生活のうち、9年間、管理職として勤務しました。私を育ててくださった多くの先輩方の期待に少ししか応えられず、申し訳なく思います。社会科と道徳科を通してたくさんのお会いがありました。やはり、教職は素晴らしい職業です。

**□多摩市立落合中学校 麻生 隆久**  
私が本気で教師を目指したきっかけは、母校での教育実習で、生徒たちと心を通わせるような体験ができたことでした。以来、多くの方々の御指導や御支援のお陰で、一人一人の生徒と心で向き合うことを大切にして職務に励むことができました。ありがとうございました。

**□稲城市立稲城第五中学校 村木 尚生**  
3年を残して退職することになりました。江戸川の松江第四中学校から始まり、調布・稲城・狛江・国分寺・東村山の各市で大変お世話になりました。34年間の内、13年を大学院や教育行政で多くのことを学ぶことができ、充実した時間を戴けたことに感謝しております。

**□あきる野市立秋多中学校 望月 一広**  
校長職、教員職在職中、多くの皆様には、本当にお世話になり深く感謝申し上げます。第2の人生も夢と感謝の気持ちを失うことなく、再出発したいと思います。今後ともどうぞ宜しくお願い申し上げます。Continue to have a dream.

**□あきる野市立五日市中学校 曾我 有二**  
岐阜県から東京に出て大学卒業後、東京都の中学校教員に採用していただいて37年間。学習指導(社会)に部活動(主にハンドボールとソフトテニス)等、そして管理職と何とかやってこられたのも皆様のお陰です。感謝申し上げます。誠にありがとうございました。

**□西東京市立保谷中学校 大橋 亮介**  
教員生活を足立区からスタートし、生活指導・生徒指導のいろはを学び、東西南北と異動する中、副校長として島への赴任は、教育の原点を学ぶ貴重な経験でした。私にとって、今まで出会った先生、生徒・保護者地域の方々が一生涯の宝物です。本当にありがとうございました。

**□西東京市立柳沢中学校 勝見 俊也**  
足立区で教員生活が始まって6年間お世話になりました。以後、西東京市(旧保谷市含む)で31年間、多くの方々にご指導頂き、校長職を全うすることができました。これまで支えて頂きました皆様に「不忘報恩」を誓い、御礼申し上げます。

**□日の出町立平井中学校 上田 忠之**  
初任校では、特別支援学級と通常学級の担任をし、大変貴重な経験をさせていただきました。この経験が私の教員としての礎となりました。思わぬ病気により特命担当校長として定年を迎えますが、多くの方々に支えられながら最後の年まで全うできることに感謝いたします。

**□八丈町立三原中学校 大澤 道明**  
八丈町立富士中に副校長として2年、母校三原中学校長に昇任しての3年があったという間に過ぎ去りました。やんちゃな私の幼少時代を知る地域の方々には「良く帰って来た」と今でも下の名前で呼ばれています。亡くなった母にも成長した姿を見せる事ができて満足です。